

# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科				
科目名称	臨床栄養教育論				授業形態	講義			
科目コード	308100	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブラーニング	○
担当教員名	村上 真珠美、竹元 明子							ICT活用	○
授業概要	<p>臨床の場で管理栄養士として活躍したいと志している学生のために設けた講座で選択科目。                      実際に業務の主要な分野となる栄養・食事指導について、疾患ごとに病態を理解し、各疾患と対象者個々人の状況に応じた適切な栄養教育・指導方法について学び、実践力・応用力を身につけて社会に貢献できる管理栄養士を目指す。</p>								
関連する科目	<p>履修前：臨床栄養学Ⅰ～Ⅳ・からだと疾病Ⅰ・Ⅱ・基礎栄養学・食品衛生学・調理学等の関連科目を理解していること。                      履修後：教科書以外の文献等により、更に理解を深めている事が望ましい。課題・症例検討のレポート作成。</p>								
授業の進め方と方法	<p>疾患ごとの病態をパワーポイントにより解説したのち、症例を提示し、まず学生同士で検討を行い、その後全員で検討する。                      必要栄養量の算出、栄養補給方法、食品構成作成、食事療法・生活指導について演習を行う。各症例検討毎にレポートを提出する。事前に課題はUNIPAにて配布。</p>								
授業計画【第1回】	<p>高齢社会の現状                      高齢者施設での治療食について学ぶ。</p>								
授業計画【第2回】	<p>経口栄養補給法                      流動食の食品構成表作成について学ぶ。</p>								
授業計画【第3回】	<p>経口栄養補給法                      全粥、軟菜食への献立の展開について学ぶ。</p>								
授業計画【第4回】	<p>経口栄養補給法                      五分粥・三分粥食への献立展開について学ぶ。</p>								
授業計画【第5回】	<p>高齢者の疾患と栄養ケア                      高齢者に多く見られる疾患、栄養問題について学ぶ。</p>								
授業計画【第6回】	<p>高齢者の疾患と栄養ケア①                      褥瘡の栄養管理について学ぶ。</p>								
授業計画【第7回】	<p>高齢者の疾患と栄養ケア②                      咀嚼・嚥下困難の栄養管理について学ぶ。</p>								
授業計画【第8回】	<p>入院中または入所中の傷病者の栄養ケア                      症例検討をし、食品構成・献立作成、栄養食事指導を学ぶ。</p>								
授業計画【第9回】	<p>代謝疾患の臨床栄養教育                      病態に応じた症例毎の栄養ケア・マネジメント、症例検討を行い、食品構成・献立の作成、栄養食事指導の方法を習得する。</p>								
授業計画【第10回】	<p>血液疾患の臨床栄養教育                      病態に応じた症例毎の栄養ケア・マネジメント、症例検討を行い、食品構成・献立の作成、栄養食事指導の方法を習得する。</p>								

授業計画【第11回】	術前・術後、クリティカル・ケアの臨床栄養教育 病態に応じた症例毎の栄養ケア・マネジメント、症例検討を行い、食品構成・献立の作成、栄養食事指導の方法を習得する。
授業計画【第12回】	消化器疾患の臨床栄養教育 病態に応じた症例毎の栄養ケア・マネジメント、症例検討を行い、食品構成・献立の作成、栄養食事指導の方法を習得する。
授業計画【第13回】	循環器疾患の臨床栄養教育 病態に応じた症例毎の栄養ケア・マネジメント、症例検討を行い、食品構成・献立の作成、栄養食事指導の方法を習得する。
授業計画【第14回】	腎・尿路疾患の臨床栄養教育① 急性・慢性腎炎、ネフローゼ 病態に応じた症例毎の栄養ケア・マネジメント、症例検討を行い、食品構成・献立の作成、栄養食事指導の方法を習得する。
授業計画【第15回】	腎・尿路疾患の臨床栄養教育② 糖尿病性腎症、腎不全、透析 病態に応じた症例毎の栄養ケア・マネジメント、症例検討を行い、食品構成・献立の作成、栄養食事指導の方法を習得する。
授業の到達目標	各疾患と対象者個々人の特徴と、社会的背景を理解し、状況に応じた適切な栄養教育・栄養指導方法を習得する。 スクリーニング・検査値から患者の状態が把握でき課題を発見し解決することが出来る。 病態別の栄養マネジメントの実践能力を習得する。症例検討でプレゼンテーション力をつける。 演習により医療に携わる管理栄養士としての倫理観を持つことができる。
学位授与の方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1.知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	疾患毎に必要な応じ 臨床栄養学 I～IVの復習 (1時間)
授業時間外学習【復習】	課題についてのレポート作成 (3時間)
課題に対するフィードバック	検討した症例はレポート提出。 点検後返却し解説を行う。
評価方法・基準	学習態度 20点 レポート 80点
テキスト	栄養食事療法必携 第4版 中村丁次 医歯薬出版 その他、必要に応じて資料を配布する
参考書	授業の中で随時紹介する。
備考	第1回～8回村上 9回～15回 竹元